



全苗連だより

Vol. 14 (10月号)

平成27年10月8日

発行：全国山林種苗協同組合連合会

Tel.03-3262-3071 Fax.03-3262-3074

平成28年度林野庁予算概算要求が提出される

「次世代林業基盤づくり交付金」でコンテナ苗生産施設の整備など幅広く助成

林野庁は8月31日に、要求総額約3,429億円(対前年比18.1%の増)の平成28年度予算概算要求を財務省へ提出しました。これから年末の予算折衝に向け予断を許しませんが、「次世代林業基盤づくり交付金」は既存の森林・林業再生基盤づくり交付金を拡充して創設され、一気に7倍強の200億円の要求となっています。

これまで補正予算で措置された「森林整備加速化・林業再生基金」の当初予算版という性格を持っており、補助メニューは、間伐・路網整備や木材加工流通施設、木質バイオマス関連施設、苗木生産施設等の整備など地域の実情に応じた川上から川下までの取組を総合的に支援する内容となっています。

この交付金を含め、林業の成長産業化・森林吸収源対策の推進、さらに花粉発生源対策の推進などの施策により、主伐が増加することが想定されており、苗木の需要量の増加が期待されます。

苗木に関する主な事業としては

【次世代林業基盤づくり交付金】のうち、[2 森林・林業再生基盤づくり交付金]のうち『次世代苗木生産システムの構築』(20,000百万円の内数)

コンテナ苗を低コストで大量に供給する苗木生産施設等の整備を支援するもので、補助対象は、育苗機械、育苗促進施設(ビニールハウス、収納台、散水装置など)、資材費(コンテナ容器、培地、肥料)となっており、都道府県を通じて、2分の1が助成されます。

【苗木安定供給推進事業(拡充)】(245百万円)

(1) 花粉発生源対策採種園等の整備

花粉症対策品種等の苗木の生産を目的とした採種園等の造成・改良等推進します。

(2) 種子の生産拡大及び流通促進【新規】

都道府県が行う人工交配に関する技術研修及び人工交配作業、並びに、他都府県へ種子を移出することを目的とした採取作業を支援します。

(3) コンテナ苗需給拡大

花粉症対策品種等のコンテナ苗を活用した伐採から再造林までの一貫作業システム普及のための協議会の設置・運営等を支援します。

(4) 花粉症対策苗木の供給拡大

優良種苗の供給拡大のために、全国各地で苗木生産者を対象として行うコンテナ苗生産の技術研修、巡回指導を支援するものであり、全苗連は、本年度と同様に事業実施主体として応募したいと考えています。

(5) 花粉症対策苗木への植替えの促進

花粉発生源となっているスギ林において花粉症対策苗木への植替えを促進するため、スギの加工業者等が行う森林所有者への働きかけを支援します。

林業退職金共済制度の掛金日額等が10月1日から改定されました。

林業退職金共済制度(林退共)は、林業従事者の確保と福祉の向上に資するため、国の制度として昭和57年に創設され、現在、加入事業所数は3,000所、加入者数は39,000人となっています。

このたび、林退共制度は、財務の健全性を確保し、今後とも制度を存続していくため、10月1日から掛金日額を現行の460円から470円に、予定運用利回りを現行の0.7%から0.5%に改定されました。

10月1日からマイナンバー制度がスタートしました

マイナンバーには、**個人番号(12桁)**と**法人番号(13桁)**の2種類があります。その内容を簡単に説明します。

【個人番号】

- ① 10月以降、住民票を有する全ての方に1人1つの**番号(12桁)**が、市町村から簡易書留で通知されます。
- ② 簡易書留の中には、[**通知カード**、**個人番号カード**の申請書と返信用封筒、マイナンバーの説明書類]が入っています。
- ③ 平成28年1月以降、社会保障(年金、医療保険、児童手当など)、税(税務署への提出書類)、災害対策における各種手続きにおいて、身元(実存)確認とともに、**個人番号**の記載・確認を求められることとなります。
- ④ この際、もし**個人番号カード**がなければ、**通知カード**等と、運転免許証等身元確認のための書類2種類が必要となります。しかし、**個人番号カード**を取得すれば、1枚で番号確認と身元確認を行うことができます。
- ⑤ **個人番号カード**は市町村に申請すると、無料で、平成28年1月から交付されます。
- ⑥ マイナンバーは一生使うものです。大切にしてください。

【法人番号】

- ① 法人には、1法人1つの**法人番号(13桁)**が指定され、インターネットでも公表されます。
- ② しかし、事業者は、平成28年1月以降、源泉徴収票などを提出するに当たり、支払者の**法人番号**とともに、支払いを受ける者及び配偶者・扶養家族の**個人番号**を記載することとなりますので、**個人番号**の厳格な保護措置が必要です。

全苗連・苗組の行事予定

- 10月22日 コンテナ苗生産のための自家採種園管理研修会(大分県・日出町公民館ほか)
- 10月28日 全国森林組合大会(東京都・日比谷公会堂)
- 10月29日 海岸防災林再生に向けた抵抗性クロマツの供給セミナー(仙台市・泉文化創造センター)
- 11月5日 中国地区林業用種苗需給調整協議会(鳥取県立生涯学習センター 県民ふれあい会館)
- 11月6日 中国地区山林種苗組合協議会現地視察(鳥取県八頭町)
- 11月10日 北海道・東北地区林業用種苗需給調整協議会(宮城県自治会館)
- 11月12日 東海・北陸地区林業用種苗及び緑化木需給調整協議会(岐阜県商工会議所)
- 11月18日 全苗連関東地区協議会(神奈川県厚木市・グリーン会館)
- 11月19日 九州地区林業用種苗需給調整協議会(佐賀総合庁舎)
- 11月20日 九州苗連協議会総会(佐賀県森林会館)
- 11月20日 近畿地区林業用優良種苗需給調整協議会(和歌山県民文化会館)
- 11月26日～27日 コンテナ苗木生産技術・低コスト造林試験地成果発表会(宮城県仙台市・緑水亭ほか)